

# 生徒が主体的に学ぶ双方向授業で これからの時代を生き抜くスキルを育てたい

— 学校法人 土佐塾学園 土佐塾中学・高等学校

## 目的

- 生徒が「豊かで幸せな未来を創造」、「リーダーとして成長していくこと」の実現可能性を高める機会を提供したい
- ICT教育により生徒の「自主性」や「創造性」、「好奇心」を刺激させたい

## アプローチ

- LTEモデルのタブレット導入でいつでもどこでも学習・利用できる環境づくり
- グループ・ワークを重視した積極的な授業の展開のツールとしてタブレットを活用
- 資料、情報伝達の電子化でタイムリーな情報共有・配信を可能に

## 社会で必要なスキルを伸ばすためにICTを活用

土佐塾中学・高等学校は2017年度から、高校1年生を対象にタブレットの一人1台体制をスタートしました。激動するこれからの時代を、生徒たちがたくましく生き抜くためには、もはやICTを活用することは必須であり、主体的に学ぶ双方向授業や探究活動の実践、個別学習などにタブレットを活かしています。

### ICTを多様なスキルの育成に活かしていきたい

同校では、2017年度から高校1年生を対象にタブレットの一人1台体制をスタートしました。草鹿広副校長はタブレット導入について「主体性を伸ばす双方向の授業を創るためには、ICTの利用は欠かせません。学習用途だけでなく、これからの社会で求められる多様なスキルの育成に活かしていきたいと考えています」と話しています。



草鹿 広 副校長

LTEタブレットを選んだ理由について草鹿副校長は「Wi-Fiモデルは生徒がネットワークから外れてしまうと管理ができませんが、LTEであれば生徒がどこにいても把握できるのがメリットでした」と話しています。ほかにも、学校が山の上であり校舎によってはWi-Fiがつながりにくい場所があること、家庭学習や校外学習など学校外でのタブレット活用を広げていきたいこと、これらを踏まえてLTE対応を選択したといます。草鹿副校長は「ドコモは教育ICT分野に関する情報量が多く、教育者向けの研修会も開催されるなど安心感がありました。困ったときはいつでも相談することができて助かりました」と話しています。



学校法人 土佐塾学園  
土佐塾中学・高等学校

高知県高知市北中山 85

URL: <http://www.tosajuku.ed.jp/>

“世界に通ずる国際人、各分野でのスーパースター”の輩出を建学の精神に掲げる土佐塾中学・高等学校（高知県高知市）は、県内トップクラスの進学実績を持つ私立一貫校。学業はもちろん、激動の時代を生き抜くために必要な情報活用能力や課題解決力、論理的・批判的思考の育成も重視し、探究活動を取り入れるなど新しい学びにも積極的に挑戦している。

## タブレットの学習は、生徒を飽きさせない工夫ができる

### 生徒の習熟度に合わせた個別学習の環境を築く

タブレット導入から2年目を迎えた土佐塾中学・高等学校では、全中学生と高1へと取り組みを広げ、現在は約1000台もの端末が稼働しています。教育機関向けポータル「G Suite for Education™」を学習の効率化や連絡事項の共有に活用したり、eラーニング教材のドリル学習を導入して、**生徒の習熟度に合わせた個別学習の環境も築いています。**

授業では、英語科の井田マックス教諭が一人1台のメリットを活かしています。

「単調になりがちな授業中のリスニング問題も、**タブレットを活用することで生徒を飽きさせない工夫ができます。**本文を聞いてG SuiteのClassroom上で4択問題を行ったり、内容に合うよう写真を並び替えたりとさまざまな出題パターンで、リスニングを鍛えることができるので、**タブレットを導入してから、授業では英語を聞く量が圧倒的に増えました。**生徒の発音もかなり良くなっていると感じます。」と井田教諭は手応えを語っています。

### タブレットを使うと自己表現の機会が増える

さらに同教諭はタブレットの活用として、授業の最後に全員が参加できるクイズアプリで振り返りをしたり、プレゼンテーションも実践しているといいます。音読の宿題では、生徒が自分の音読を動画に撮影して提出するなど、ICTのメリットを活かしています。「**タブレットを使うと自己表現の機会が増えるのが良い**ですね。生徒たちが、相手に伝えるためにはどうすればいいかという視点で作るので、良い学びにつながっていると感じます」と井田教諭は語っています。

## タブレットは“自分のペースで学習できる”のが魅力

土佐塾中学・高等学校の生徒たちは、タブレットを活用した学習をどのように感じているでしょうか。高2女子生徒は「**自分のペースで学習できるところが一番良い**です。自宅で学習するときは、分からない部分を何度も動画で観ることができますし、授業中は先生が話したことで分からないことを調べることができます。先生に頼らなくても自分で解決できるところが良いなと思います」と話してくれました。

また同生徒は授業についても「英語が苦手でしたが、クイズ形式のアプリを使った授業で楽しくなりました。**グループ学習が増えて、友達と協力したり、プレゼンテーションを行う機会が増えたのも良い**と思います。社会に出たら人前で話せる力が必要だと思いますが、今からその力を身につけていると思います」と語っています。

ほかにも中2女子生徒からはタブレットの活用について「通学バスに乗る時間が長いのですが、その間に英単語を覚えたりしています」という声や、「**授業でプログラミングをやった楽しかったので、通学バスや自宅でもやっています**」という話を聞くことができました。生徒たちのタブレット活用やそれに対する価値観はそれぞれ異なりますが、**自分に合うスタイルで学習に活かし、自律ある行動への意識が芽生え始めている**ことが感じられます。

今後は、大学や企業、海外の教育機関との双方向授業も視野に入れている土佐塾中学・高等学校。これからの取り組みにも期待が高まります。



お問い合わせ

株式会社NTTドコモ

ドコモ・コーポレートインフォメーションセンター (☎0120-808-539)  
受付時間 平日午前9時～午後6時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ドコモのホームページ 法人のお客さま  
教育の場にICTを!

[https://www.nttdocomo.co.jp/biz/special/education\\_ict/](https://www.nttdocomo.co.jp/biz/special/education_ict/)

